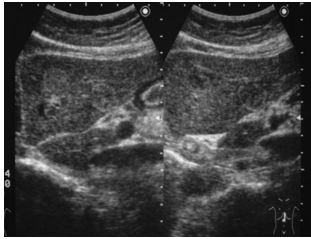
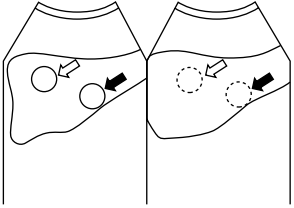
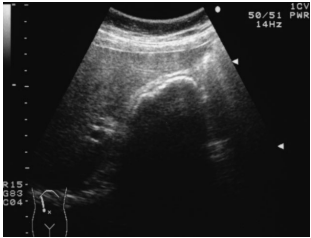
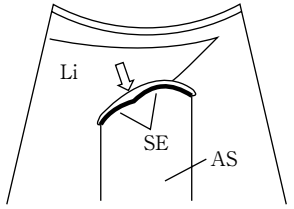
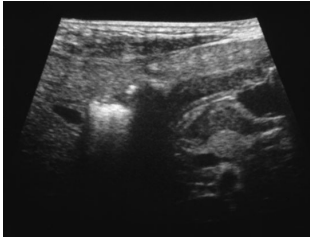
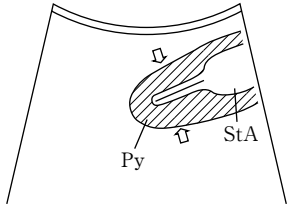
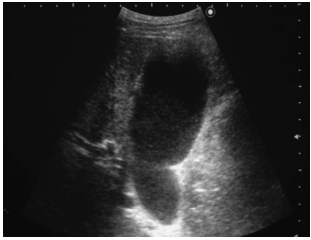
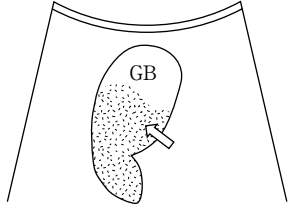
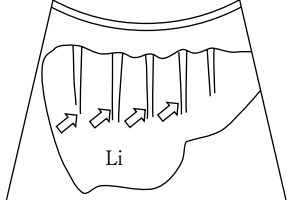

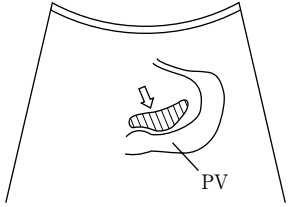
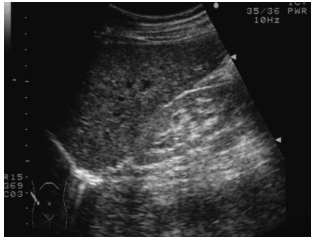
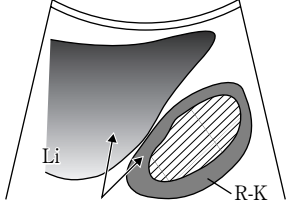
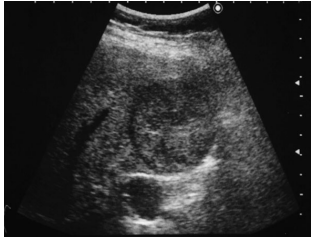
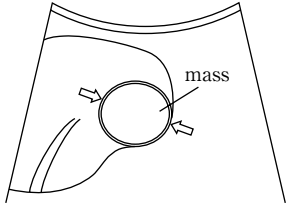
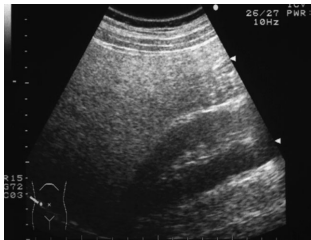


| 番号 | 名称 | 概念 | 対象疾患 対象部位 | 画像 | シエーマ |
|----|------------------------|---|--------------------------------------|--|--|
| 17 | disappearing sign | 肝血管腫において探触子で腫瘤を圧排することにより腫瘤性状が変化し不明瞭化する現象。 海綿静脈洞の大きさの変化により、後方散乱が変化することに起因する。 (chameleon sign, wax and wane signと同義語) | 肝血管腫 |  |  |
| 18 | double arc-shadow sign | 萎縮胆嚢内に音響陰影を伴った胆石像が充満する場合、表面のストロングエコーの腹側に胆嚢壁を示唆する低エコー像がみられる。 | 胆石 |  |  |
| 19 | double-track sign | (cervix signを参照) | 肥厚性幽門狭窄症 |  |  |
| 20 | echogenic bile | 内部エコーを有する胆汁。 | 胆嚢内の胆汁うっ滞 胆嚢炎 debris sludge |  |  |

| 番号 | 名称 | 概念 | 対象疾患 対象部位 | 画像 | シエーマ |
|----|----------------------------|--|--------------|--|--|
| 21 | fatty bandless sign | (masking signを参照) | 脂肪肝 |  |  |
| 22 | FF pattern | 門脈壁の数の減少や、画像の中央領域でエコー輝度が上昇し、近位および遠位領域でわずかに減弱する像を呈する。 (CL patternを参照) (FF : fatty-fibrotic pattern) | 慢性肝炎 |  |  |
| 23 | flag sign | 肝臓表面から、その名のとおりに“旗がなびく”ように縦縞模様が描出される。肝表面に凹凸がある場合に、突出部の後方は暗く、陥凹部の後方は明るく描出される現象で、再生結節からの側方陰影に相当する。 | 肝硬変 |  |  |
| 24 | focal fatty change | 肝内に限局性に脂肪沈着があり、高エコー像として描出されるもの。 | 肝限局性脂肪沈着 |  |  |

| 番号 | 名称 | 概念 | 対象疾患 対象部位 | 画像 | シエーマ |
|----|--|---|-------------------------------|---|---|
| 25 | focal spared region focal spared area | 脂肪肝でみられる限局性の低エコー領域が、腫瘤様に描出され、腫瘤と紛らわしいために表現されている。 (fat sparing area, pseudo-tumor sign と同義語) | 脂肪肝 胆嚢周囲 肝左葉内側区 (S4) |  |  |
| 26 | 逆肝腎コントラスト | 腎皮質のエコーレベルが肝臓より上昇しているものを逆肝腎コントラストと呼ぶ。 | 慢性腎不全, ネフローゼ症候群, アミロイド腎 |  |  |
| 27 | halo (ハロー) | 肝臓と乳房で用いられており、両者の使われ方が異なる。前者は低エコー、後者は高エコーに描出される。肝臓では腫瘍辺縁にみられる低エコー帯を指す。転移性肝癌では厚みがあり、不明瞭なことが多い。この場合の辺縁部分は転移性の細胞浸潤による。肝細胞癌では全周性で均等な厚みで明瞭。この場合の辺縁部分は線維性被膜による。marginal hypoechoic zone (辺縁低エコー帯)としても用いられている。乳房では腫瘍の境界部にみられる環状高エコーが太陽にかかる反射量のように描出されることから用いられている。 (表在領域のhaloを参照) | 転移性肝癌 肝細胞癌 |  |  |
| 28 | hepato-renal echo contrast (肝腎コントラスト) | 肝臓と腎皮質のエコーレベルを比較し、その差をみる。通常はこの差はみられないが、脂肪肝では肝実質のエコーレベルが上昇し、明らかな差がみられる。 | 脂肪肝 |  |  |

| 番号 | 名称 | 概念 | 対象疾患 対象部位 | 画像 | シエーマ |
|----|---|--|----------------------------|--|--|
| 29 | hump sign (ハンプサイン) | 肝表面に限局性の隆起や突出を認める場合をいい、腫瘍の存在を意味する。 肝細胞癌では多くみられ血管腫ではまれなため両者の鑑別に用いられる。(転移性肝腫瘍ではumbilicationを参照) | 肝細胞癌 |  |  |
| 30 | inner tube sign | 拡張した総胆管内に2本の線状高エコー像がチューブ状に描出される。これは、虫体外皮が線状エコーとして、虫体消化管が低エコーとして描出されるためである。胆道内に迷入した回虫の特徴的所見である。 ドレナージカテーテルも同様の超音波像を呈する。 | 胆道内回虫迷入症 ドレナージ カテーテル |  |  |
| 31 | inward displacement of liver capsule | 肝下面に接した腫瘍の由来臓器が、肝内か肝外(右腎や右副腎など)かを判定するときに用いられる。腫瘍に接する肝被膜が肝内に圧排され内方へ偏位していれば肝外由来で、肝被膜が肝外へ突出していれば肝由来となる。後者をoutward bulging of liver capsuleと呼ぶ。(retroperitoneal triangular fat wedgeを参照) | 副腎腫瘍 |  |  |
| 32 | irregular fatty infiltration | 脂肪沈着の量や分布の違いにより、肝内エコーがまだら状に出現する現象(まだら脂肪肝)。脂肪の分布が強い所ではエコーレベルが上昇することによる。 | 脂肪肝 |  |  |